

1 調査の目的

本調査は、飯山市から転出した人について、転出した理由、転出先、飯山市の良い点・悪い点などを把握し、今後の人口減少対策の参考とすることを目的として実施した。

2 調査の方法と回答結果

(1) 郵送によるアンケート

ア 調査対象及び方法

平成26年3月1日から11月30日までの間に転出届を提出した377世帯に対し、郵送により配布・回収を行った。

(2) 市民環境課窓口でのアンケート

平成26年12月11日から平成27年4月30日までの間に転出届を提出した316世帯に対し、転出届提出時に回収を行った。

(3) 回答結果

	転出世帯数	回答世帯数	回答率
郵送によるアンケート	377	83	22.0%
窓口でのアンケート	316	226	71.5%
計	693	309	44.6%

3 集計結果の概要

- ・ 転出者の年齢構成は、「20～29歳」が45.0%、「30～39歳」が21.4%で、この年代で約7割を占めている。世帯構成は、「単身」が約8割、「家族」が約2割であった。
- ・ 職業は、「会社員」が37.9%、「公務員」が16.8%で、この2つで全体の5割を超えている。「学生」は約2割であった。
- ・ 転出前に住んでいた地区では、「飯山」が36.9%と全体の約4割であり、次いで「木島」(15.9%)、「秋津」(10.7%)の順であり、アパートが多い地区での転出者が多い。
- ・ 転出先で多いのは、県内では「長野市」への転出が最も多く、次いで「中野市」、「松本市」の順であった。県外では「東京都」、「神奈川県」、「埼玉県」の順であった。
- ・ 県内外を合わせた転出先順位は、「長野市」、「東京都」、「中野市」、「神奈川県」、「松本市」の順であった。県内外の割合では県内が57.2%、県外が41.5%であった。
- ・ 転出の理由では、「仕事の関係（就職、転職、転勤、退職）」が48.4%と約半数であり、次いで「結婚・離婚」が15.3%、「進学・転校」が10.6%となっている。
- ・ 「仕事の関係」のうち就職・転職で転出した理由は、市内には「働きたい会社、職種がなかった」と「求人がなかった」をあわせると46.3%と約半数を占め、市外で「もっと良い条件の仕事が見つかった」が25.3%となっている。
- ・ 飯山市において、「良い」と思った点については、「自然環境・景観」、「防犯・生活安全」、「雪対策」、「近所づきあい・地域活動」の割合が高く、「悪い」と思った点については、「公共交通」、「医療体制」、「雇用・経済環境」、「通勤通学」の割合が高い。
- ・ これらの結果から、飯山市からの転出者の傾向をみると、年齢は若年層（39歳以下）が約7

割を占め、主に仕事の関係で転出していることがわかる。主な転出先では、近隣の長野市、中野市や仕事、進学先の多い関東圏への転出が多い。

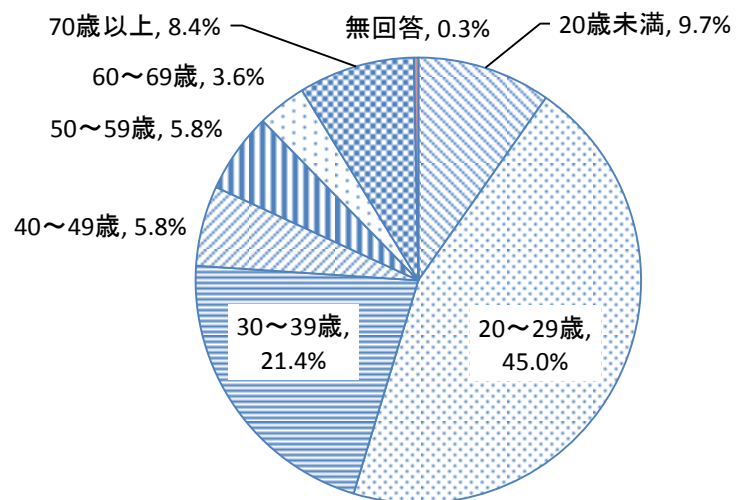
2つの調査の集計に当たっては、共通項目を中心にまとめたものであり、それぞれの調査結果については、別紙1及び2のとおりである。

4 集計結果

1 転出者の年代別内訳について

年代別の転出者では、「20～29歳」が45.0%と最も多く、次いで「30～39歳」(21.4%)、「20歳未満」(9.7%)の順であった。また、20歳代と30歳代で全体の約7割を占めている。

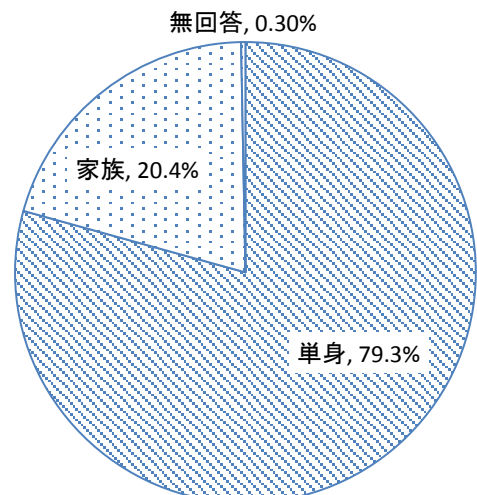
	回答数	割合(%)
20歳未満	30	9.7
20～29歳	139	45.0
30～39歳	66	21.4
40～49歳	18	5.8
50～59歳	18	5.8
60～69歳	11	3.6
70歳以上	26	8.4
無回答	1	0.3
計	309	100.0



2 転出した際の世帯構成について

- ・転出者の世帯構成では、「単身」(79.3%)が約8割を占めている。
- ・年代別にみると、「単身」では20歳未満が96.7%、20～29歳が95.0%とほとんどを占め、30～39歳と40～49歳では「単身」、「家族」が半数となっている。

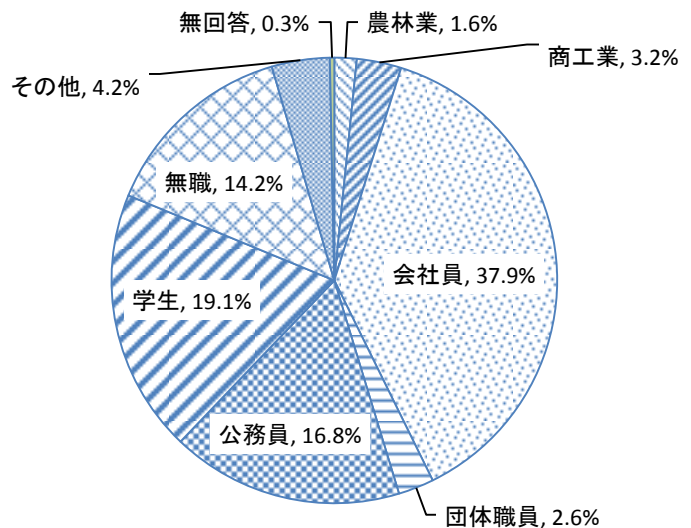
	単身で転出		家族で転出	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
20歳未満	29	96.7%	1	3.3%
20～29歳	132	95.0%	7	5.0%
30～39歳	33	50.0%	33	50.0%
40～49歳	9	50.0%	9	50.0%
50～59歳	15	83.3%	3	16.7%
60～69歳	7	63.6%	4	36.4%
70歳以上	20	76.9%	6	23.1%
計	245	79.3%	63	20.4%



3 転出者の職業について

- ・ 転出者の職業では、「会社員」(37.9%)、「学生」(19.1%)、「公務員」(16.8%)の順である。
- ・ 20歳未満では「学生」(86.7%)、20～29歳では「会社員」(46.0%)、「学生」(23.7%)、30～39歳では「会社員」(48.5%)、「公務員」(33.3%)が多くなっている。
- ・ 30歳～59歳の各年代で、「会社員」は4～5割、「公務員」は約3割をそれぞれ占めていた。
- ・ 70歳以上では、「無職」(76.9%)が約8割であった。

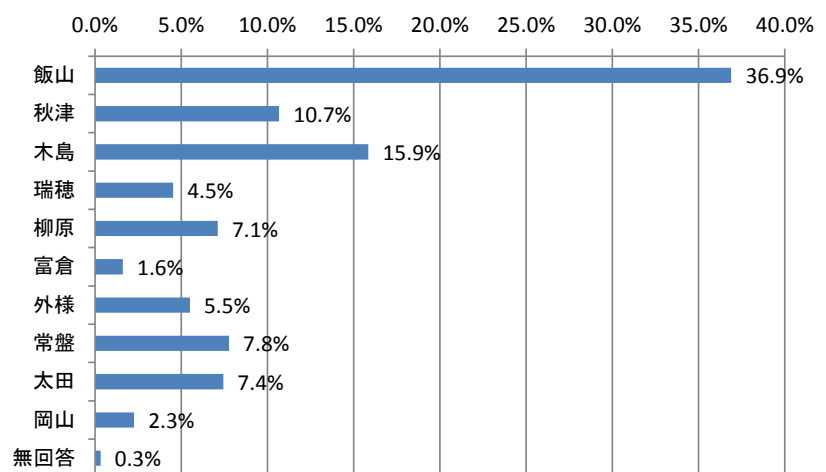
	回答数	割合(%)
農林業	5	1.6
商工業	10	3.2
会社員(パート含む)	117	37.9
団体職員	8	2.6
公務員	52	16.8
学生	59	19.1
無職	44	14.2
その他	13	4.2
無回答	1	0.3
計	309	100.0



4 転出前の居住地区について

転出前に住んでいた地区では、「飯山」(36.9%)が全体の約4割であった。次いで「木島」(15.9%)、「秋津」(10.7%)の順であり、アパートが多い地区での転出者が多い。

	回答数	割合(%)
飯山	114	36.9
秋津	33	10.7
木島	49	15.9
瑞穂	14	4.5
柳原	22	7.1
富倉	5	1.6
外様	17	5.5
常盤	24	7.8
太田	23	7.4
岡山	7	2.3
無回答	1	0.3
計	309	100.0



5 転出先について

- ・転出先で多いのは、「長野市」(18.6%)、「東京都」(13.4%)、「中野市」(9.5%)、「神奈川県」(4.6%)、「松本市」(3.9%)の順となっている。
- ・県内・県外別では、県内が57.2%、県外が41.5%、海外が1.3%となっている。
- ・県内での転出では北信地域が67.4%、県外への転出では首都圏が66.9%と、ともに約7割を占めている。
- ・20歳未満では「東京都」(26.7%)、「長野市」(16.7%)、「埼玉県」(13.3%)への転出が多く、県外の割合も73.3%と高い。
- ・20～29歳も同様に「東京都」(18.1%)、「長野市」(14.5%)、「神奈川県」(8.7%)が多く、県外の転出割合も53.6%となっている。

県内転出先上位

	回答数	割合(%)
長野市	57	18.6
中野市	29	9.5
松本市	12	3.9
上田市	9	2.9
木島平村	9	2.9
その他市町村	59	19.3
計	175	57.2

県外転出先上位

	回答数	割合(%)
東京都	41	13.4
神奈川県	14	4.6
埼玉県	11	3.6
群馬県	6	2.0
愛知県	6	2.0
その他都道府県	49	16.0
計	127	41.5

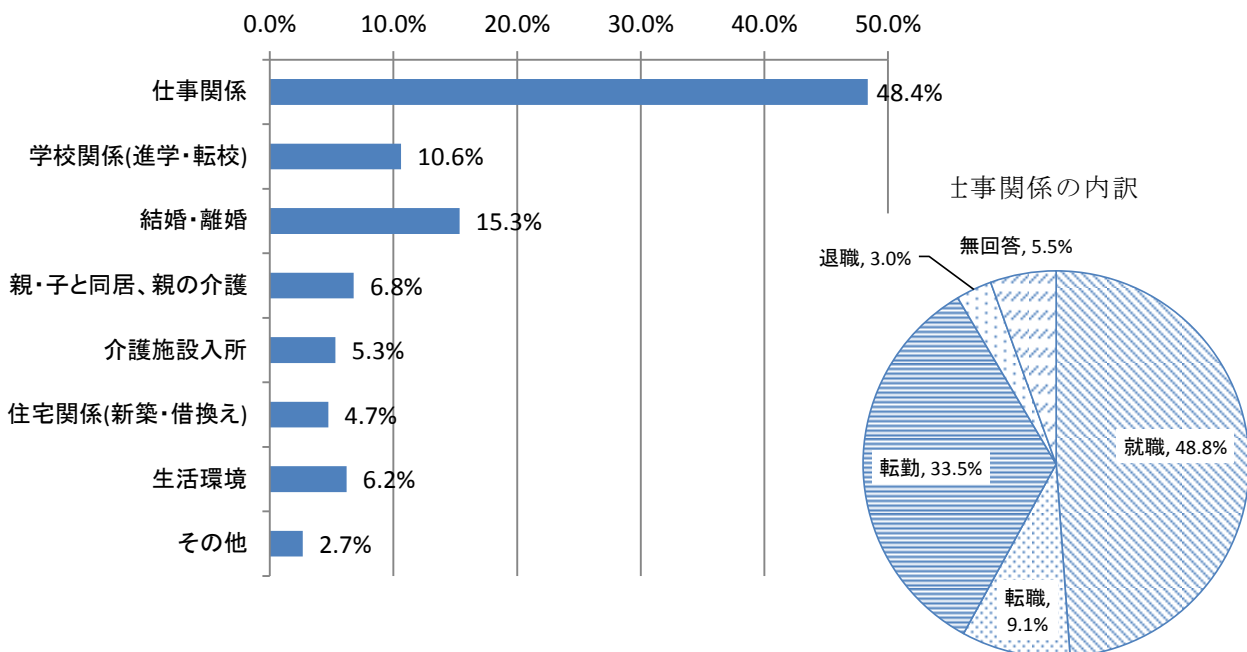
年代別転出先上位

	1	2	3
20歳未満	東京都(26.7%)	長野市(16.7%)	埼玉県(13.3%)
20～29歳	東京都(18.1%)	長野市(14.5%)	神奈川県(8.7%)
30～39歳	長野市(25.8%)	中野市(18.2%)	松本市(7.6%)
40～49歳	長野市(22.2%)	東京都(11.1%) 岡谷市(11.1%) 飯綱町(11.1%)	
50～59歳	長野市(23.5%)	松本市(17.6%)	東京都(11.8%)
60～69歳	長野市(45.5%)		
70歳以上	中野市(15.4%)	木島平村(11.5%) 野沢温泉村(11.5%) 栄村(11.5%)	

6 転出理由について

- ・ 転出する理由では、「仕事の関係」(48.4%)が最も多く、次いで「結婚・離婚」(15.3%)、「進学・転校」(10.6%)、「親や子と同居、親の介護など家庭の事情」(6.8%)の順となっている。
- ・ 年代別にみると、20歳未満では「進学・転校」(56.3%)、「仕事の関係(就職)」(28.1%)が多く、20～29歳では「仕事の関係」(66.0%)と「結婚・離婚」(20.1%)が多く、30～39歳でも「仕事の関係」(43.4%)と「結婚・離婚」(26.3%)が多い。
- ・ 「仕事の関係」では、就職が約5割、転勤が約3割となっている。
- ・ また、「仕事の関係」では「転勤」が40～49歳で約8割、30～39歳及び50～59歳で約7割を占めている。
- ・ 70歳以上では、「介護施設入所」が5割であった。

	回答数	割合(%)
仕事の関係(就職、転職、転勤、退職)	164	48.4
進学・転校	36	10.6
結婚・離婚	52	15.3
親や子と同居、親の介護など	23	6.8
介護施設入所	18	5.3
住宅の関係(新築・購入、借家の借換え)	16	4.7
生活環境(医療、福祉、子育て環境、公共交通、災害、雪、近所づきあい等)	21	6.2
その他	9	2.7
計	339	100.0



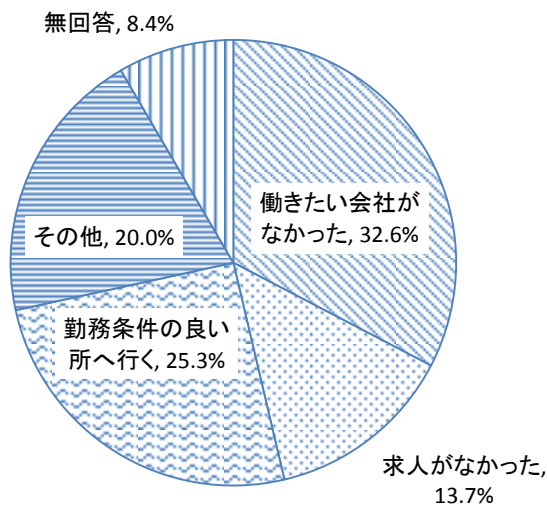
	20歳未満		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
仕事の関係	9	28.1%	95	66.0%	33	43.4%	12	60.0%	11	55.0%	3	15.8%	1	3.6%
就職	9	28.1%	69	47.9%	1	1.3%			1	5.0%				
転職			7	4.9%	5	6.6%	1	5.0%	1	5.0%	1	5.3%		
転勤			13	9.0%	24	31.6%	10	50.0%	8	40.0%				
退職			2	1.4%					1	5.0%	2	10.5%		
無回答			4	2.8%	3	3.9%	1	5.0%					1	3.6%
進学・転校	18	56.3%	10	6.9%	5	6.6%	1	5.0%	1	5.0%	1	5.3%		
結婚・離婚	1	3.1%	29	20.1%	20	26.3%	2	10.0%						
親・子と同居、親の介護	1	3.1%	1	0.7%	6	7.9%	3	15.0%	3	15.0%	3	15.8%	6	21.4%
介護施設入所									1	5.0%	3	15.8%	14	50.0%
住宅関係	1	3.1%	3	2.1%	6	7.9%	2	10.0%			4	21.1%		
生活環境			5	3.5%	3	3.9%			2	10.0%	5	26.3%	6	21.4%
その他	2	6.3%	1	0.7%	3	3.9%			2	10.0%			1	3.6%
	32	100.0%	144	100.0%	76	100.0%	20	100.0%	20	100.0%	19	100.0%	28	100.0%

7 市外へ就職・転職で転出した方の具体的な理由について

「仕事の関係」のうち市外で就職及び転職したと答えた方の回答である。

- ・市内には「働きたい会社、職種がなかった」(34.7%)が最も多く、次いで市外で「もっと良い条件の仕事が見つかった」(25.3%)となっている。
- ・「その他」(20.0%)では、「通勤が大変」を上げている方もいる。

	回答数	割合(%)
働きたい会社、職種がなかった	31	32.6
求人がなかった	13	13.7
もっと良い条件の仕事が見つかった	24	25.3
その他	19	20.0
無回答	8	8.4
計	95	100.0



1 調査の目的

本調査は、飯山市から転出した人について、転出した理由、転出先、飯山市の良い点・悪い点などを把握し、今後の人口減少対策の参考とすることを目的として実施した。

2 調査の方法と回収結果

- (1) 調査対象 平成26年3月1日から11月30日までの間に転出届を提出した377世帯
- (2) 調査の方法 郵送による配布・回収
 - 発送 平成27年3月1日
 - 回収 平成27年4月20日

3 回答結果

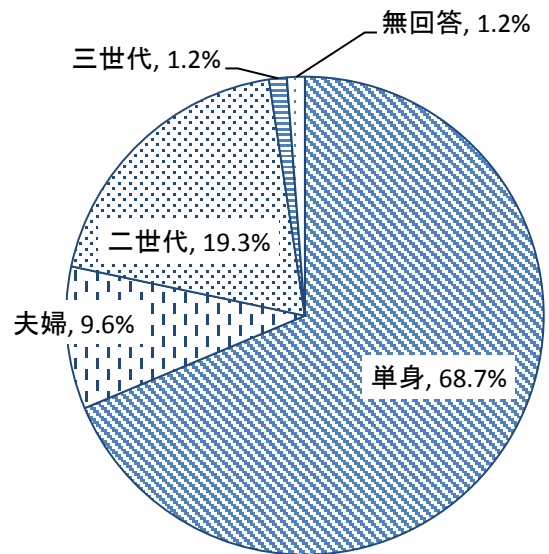
- (1) 回答数 83世帯
- (2) 回答率 22.0%

4 集計結果

問1 飯山市から転出された際の家族構成について

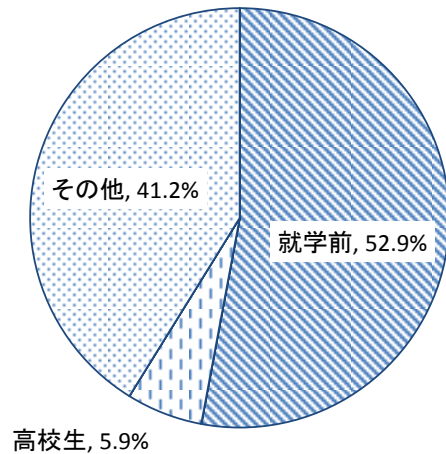
- ・転出者の世帯構成では、「単身」(68.7%)が約7割を占め、次いで「二世帯(親子)」(19.3%)、「夫婦」(9.6%)の順であった。
- ・年代別にみると、「単身」では20歳未満が80.0%、20歳代が88.9%とほとんどを占め、「夫婦」及び「二世帯」では30歳代が42.1%、40歳代が40.0%、50歳代が42.9%、60歳代が33.4%、70歳以上が46.2%と家族での転出が比較的多くなっている。

	回答数	割合(%)
単身	57	68.7
夫婦	8	9.6
二世帯(親子)	16	19.3
三世帯(親・子・孫)	1	1.2
その他	0	0.0
無回答	1	1.2
計	83	100.0



問2 お子さん、お孫さんの転出時の就学状況について（問1で「二世帯」又は「三世帯」とお答えいただいた方）

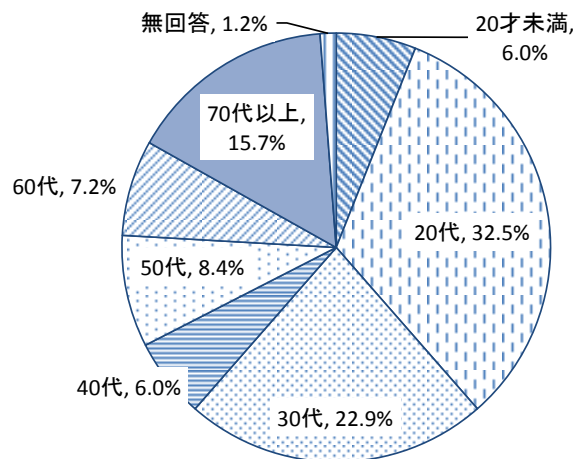
	回答数	割合(%)
就学前	9	52.9
小学生	0	0.0
中学生	0	0.0
高校生	1	5.9
大学・短大・専門学校	0	0.0
その他	7	41.2
無回答	0	0.0
計	17	100.0



問3 転出された方の年齢について

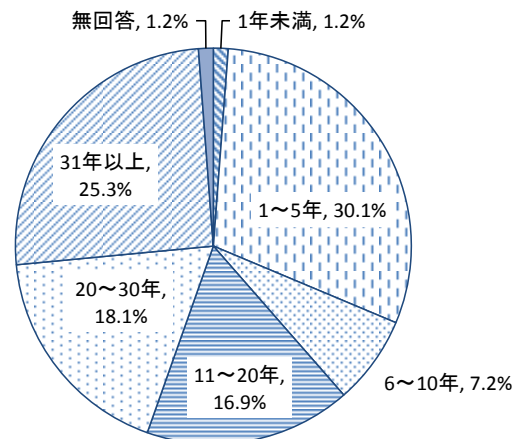
年代別の転出者では、「20歳代」が32.5%と最も多く、次いで「30歳代」(22.9%)、「70歳代以上」(15.7%)の順であった。また、20歳代と30歳代で全体の55.4%と半分以上を占めている。

	回答数	割合(%)
20歳未満	5	6.0
20歳代	27	32.5
30歳代	19	22.9
40歳代	5	6.0
50歳代	7	8.4
60歳代	6	7.2
70歳代以上	13	15.7
無回答	1	1.2
計	83	100.0



問4 飯山市にお住まいになった年数について

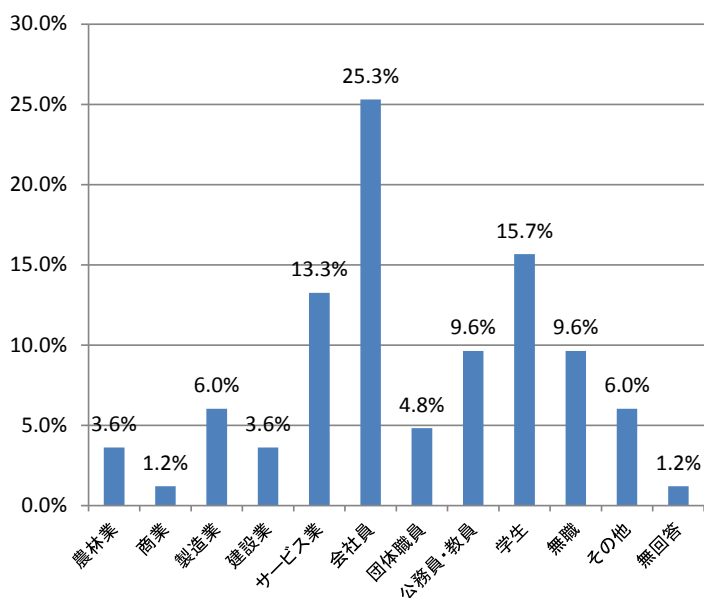
	回答数	割合(%)
1年未満	1	1.2
1～5年	25	30.1
6～10年	6	7.2
11～20年	14	16.9
21～30年	15	18.1
31年以上	21	25.3
無回答	1	1.2
計	83	100.0



問5 転出前の職業について

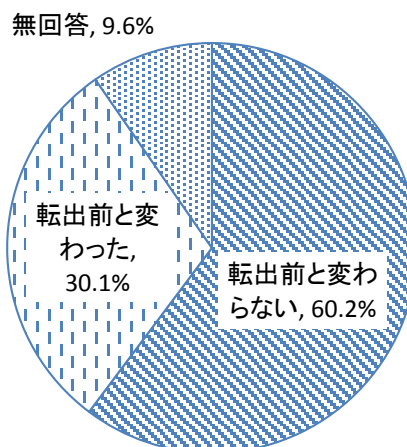
- ・ 転出者の職業では、「会社員」(25.3%)、「学生」(15.7%)、「サービス業」(13.3%)の順であり、「建設業」、「サービス業」、「団体職員」、「会社員」及び「公務員・教員」を合わせた勤め人の割合は、56.6%と約6割を占めている。
- ・ 20歳未満では「学生」が100.0%、20歳代では「学生」が29.6%、「会社員」が22.2%、30歳代では「会社員」が47.4%、「サービス業」が21.1%となっている。

	回答数	割合(%)
農林業	3	3.6
商業	1	1.2
製造業	5	6.0
建設業	3	3.6
サービス業	11	13.3
会社員(パート含む)	21	25.3
団体職員	4	4.8
公務員・教員	8	9.6
学生	13	15.7
無職(家事等)	8	9.6
その他	5	6.0
無回答	1	1.2
計	83	100.0



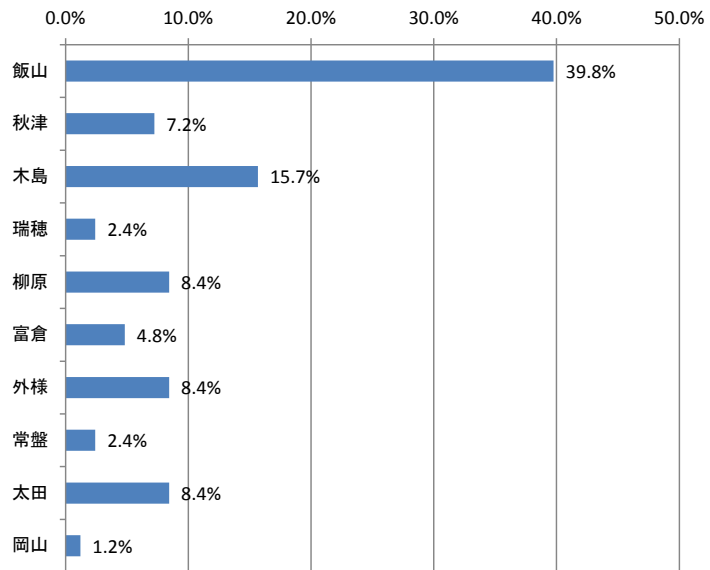
問6 転出後の職業について

	回答数	割合(%)
転出前と変わらない	50	60.2
転出前と変わった	25	30.1
無回答	8	9.6
計	83	100.0



問7 転出前の地区・集落について

	回答数	割合(%)
飯山	33	39.8
秋津	6	7.2
木島	13	15.7
瑞穂	2	2.4
柳原	7	8.4
富倉	4	4.8
外様	7	8.4
常盤	2	2.4
太田	7	8.4
岡山	1	1.2
無回答	1	1.2
計	83	100.0



問8 転出先について

- ・ 転出先で多いのは、「長野市」(18.8%)、「東京都」(11.3%)、「中野市」(12.5%)、「上田市」(6.3%)、「松本市」(5.0%)の順となっている。
- ・ 県内・県外別では、県内が66.3%、県外が33.8%となっている。
- ・ 県内での転出では北信地域が67.9%、県外への転出では首都圏が66.7%と、ともに約7割を占めている。
- ・ 「20歳代」では長野市、「30歳代」では中野市への転出が最も多かった。

県内

	回答数	割合(%)
長野市	15	18.8
中野市	10	12.5
上田市	5	6.3
松本市	4	5.0
須坂市	3	3.8
木島平村	3	3.8
飯田市、佐久市、小諸市、千曲市、安曇野市、山ノ内町、野沢温泉村、栄村、小布施町、飯綱町、坂城町、富士見町、王滝村	各1	
	53	66.3%

県外

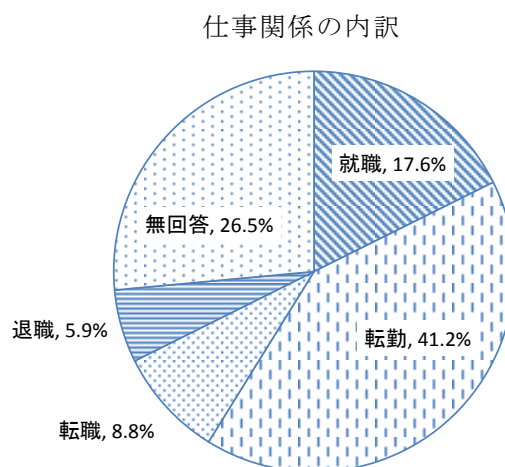
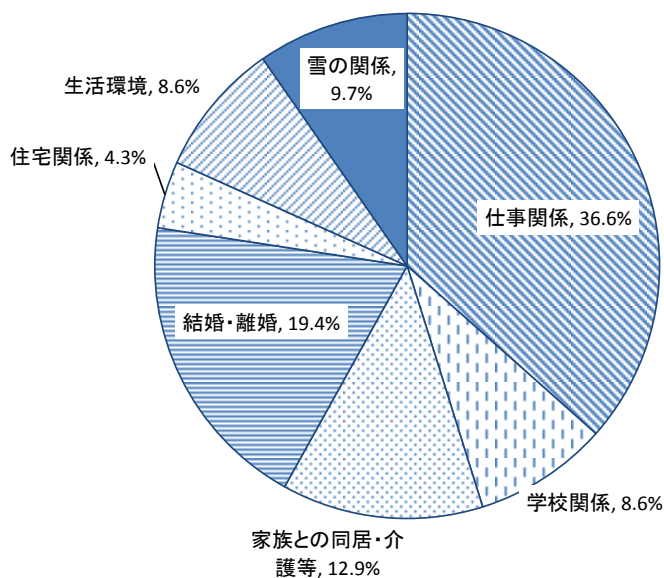
	回答数	割合(%)
東京都	9	11.3
神奈川県	3	3.8
山梨県	2	2.5
愛知県	2	2.5
北海道	2	2.5
埼玉県、群馬県、千葉県、栃木県、新潟県、大阪府、徳島県、福岡県、長崎県	各1	
	27	33.8%

※割合は、回答者80人に対する率

問9 飯山市から転出された理由について(あてはまるもの全てを選択)

- ・ 転出する理由では、「仕事の関係」(36.6%)が最も多く、「結婚・離婚」(19.4%)、「親や子と同居、親の介護など家庭の事情」(12.9%)、「雪の関係」(9.7%)の順となっている。
- ・ 「仕事の関係」では、転勤が約4割、就職が約2割となっている。
- ・ 年代別にみると、20歳未満は「学校の関係」(60.0%)、20歳代は「仕事の関係」(48.4%)と「結婚・離婚」(32.3%)が多く、30歳代でも「仕事の関係」(50.0%)と「結婚・離婚」(40.0%)が多い。
- ・ 30歳代の「仕事の関係」では転勤が7割となっている。
- ・ 「生活環境」と答えた年代では、50歳代(25.0%)、60歳代(22.2%)、70歳以上(26.7%)で多く、「雪の関係」と答えた年代でも、60歳代(33.3%)、70歳以上(20.0%)が多い。

	回答数	割合(%)
仕事の関係(就職、転職、転勤、退職)	34	36.6
学校の関係(進学、転校)	8	8.6
親や子と同居、親の介護など家庭の事情	12	12.9
結婚・離婚のため	18	19.4
住宅の関係(新築・購入、借家の借換え)	4	4.3
生活環境(医療、福祉、子育て環境、公共交通、災害、近所づきあい、その他)	8	8.6
雪の関係	9	9.7
計	93	100.0



問 10 問9で「雪の関係」とお答えになった方の具体的な理由を記入してください。

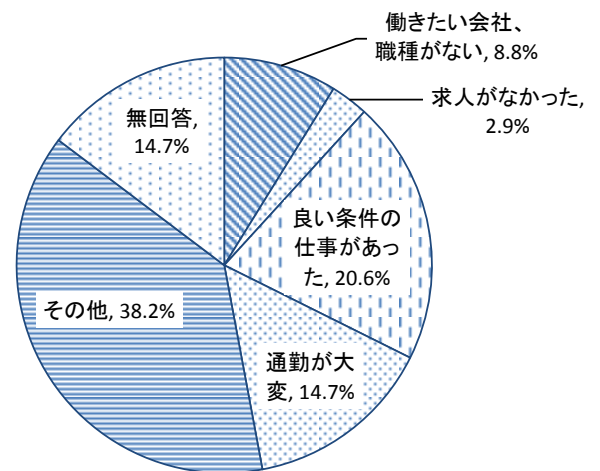
- ・雪囲いと、足が痛くなってきたため雪の少ない所へ（70歳代以上）
- ・除雪機は毎年点検、地震で風呂にひび、そんな所へ金かけるより長男と一緒に住んだほうがということで中古住宅を購入し入居 ※一部省略（70歳代以上）
- ・自宅の雪処理。仕方なく同居（70歳代以上）
- ・年とともに雪処理がきつくなりました。雪以外の住環境はすばらしい。（60歳代 団体職員）
- ・高齢一人暮らしのため、雪片付けができなくなった。（70歳代以上）

問 11 問9で「仕事の関係」とお答えになった方の具体的な理由について

問9で「仕事の関係」と答えた34人の回答である。

- ・「その他」(38.2%)が最も多いが、「転勤を命ぜられた」ことが多いと考えられる。
- ・次いで「もっと良い条件の仕事が見つかった」(20.6%)、「通勤が大変」(14.7%)の順となっている。

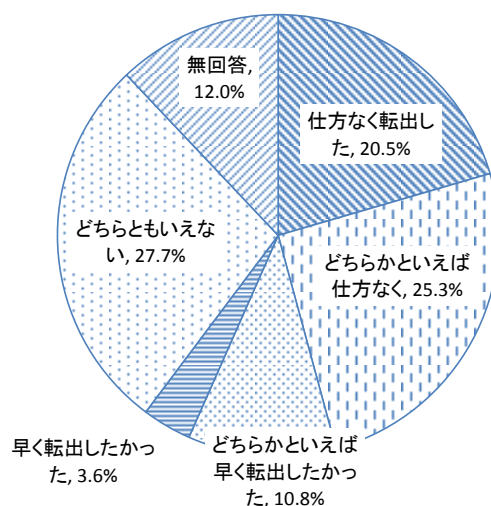
	回答数	割合(%)
働きたい会社、職種がなかった	3	8.8
求人がなかった	1	2.9
もっと良い条件の仕事が見つかった	7	20.6
通勤が大変	5	14.7
その他	13	38.2
無回答	5	14.7
計	34	100.0



問 12 飯山市から転出された時のお気持ちについて

「仕方なく転出した」(20.5%)と「どちらかといえば仕方なく転出した」(25.3%)が45.8%で、「どちらかといえば早く転出したかった」(10.8%)と「早く転出したかった」(3.6%)の14.4%を大きく上回っており、自発的に転出したいと考えている人は少ないと考えられる。

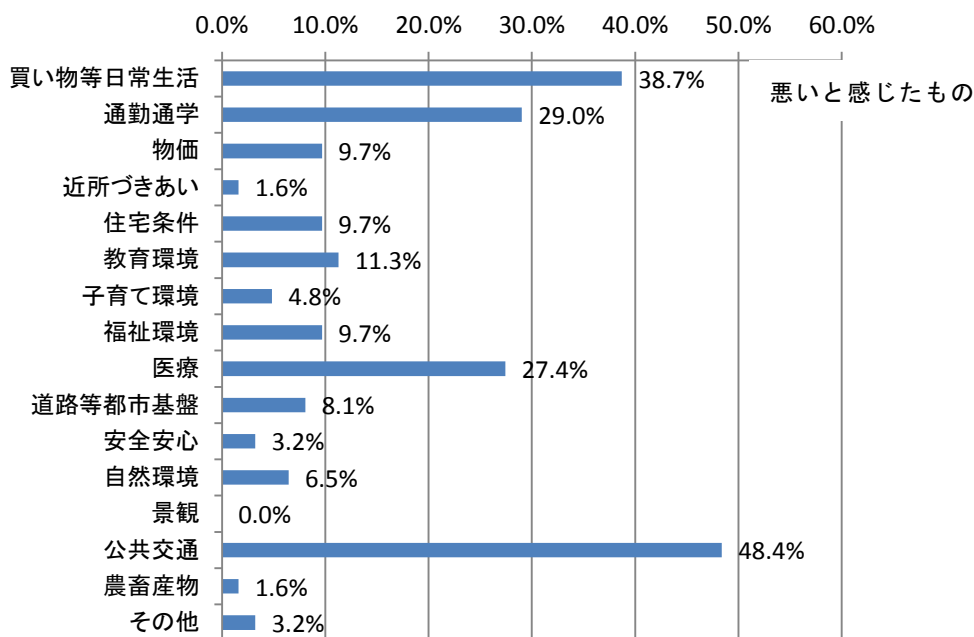
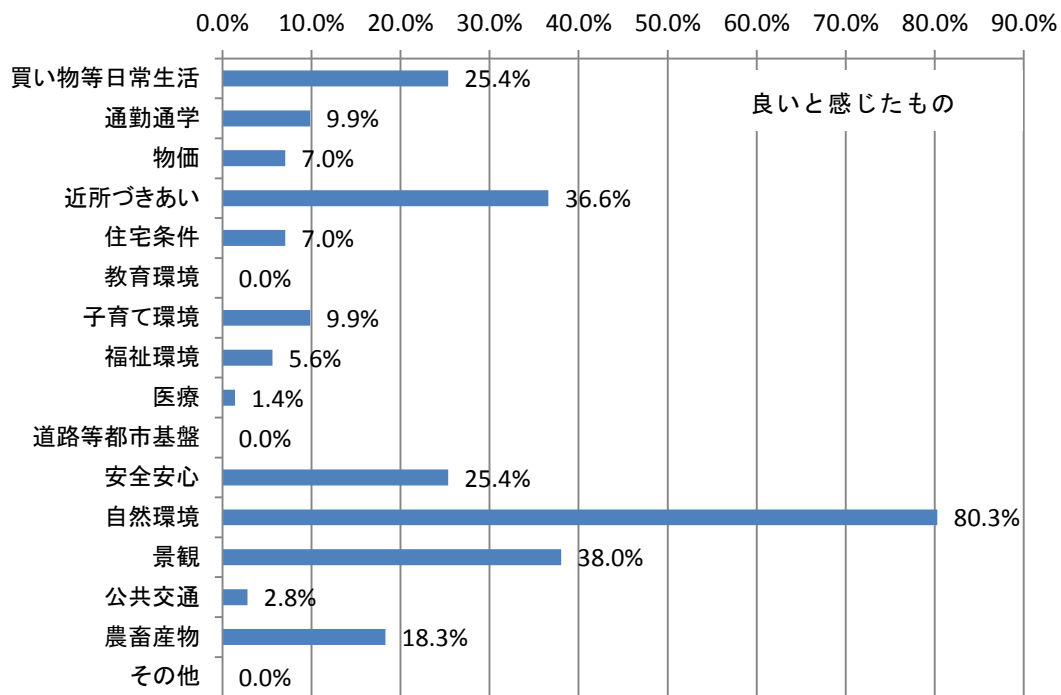
	回答数	割合(%)
仕方なく転出した(もっと長く住みたかった)	17	20.5
どちらかといえば、仕方なく転出した	21	25.3
どちらかといえば、早く転出したかった	9	10.8
早く転出したかった	3	3.6
どちらともいえない	23	27.7
無回答	10	12.0
計	83	100.0



問 13 飯山市についての感想（良いと感じたもの、悪いと感じたものそれぞれ3つまで）

- ・飯山市で良いと感じたものでは、「自然環境」(80.3%)が圧倒的に多く、次いで「景観」(38.0%)、「近所づきあい」(36.6%)、「買物等日常生活」(25.4%)、「安全安心」(25.4%)の順であった。
- ・悪いと感じたものでは、「公共交通」(48.4%)が最も多く、次いで「買物等日常生活」(38.7%)、「通勤通学」(29.0%)、「医療」(27.4%)の順となっている。
- ・「買物等日常生活」は、良いと感じたものでは4番目であったが、悪いと感じたものでは2番目に上がっている。

	良いと感じたもの		悪いと感じたもの	
	回答数	割合 (%)	回答数	割合 (%)
買物等日常生活	18	25.4	24	38.7
通勤通学	7	9.9	18	29.0
物価	5	7.0	6	9.7
近所づきあい	26	36.6	1	1.6
住宅条件	5	7.0	6	9.7
教育環境	0	0.0	7	11.3
子育て環境	7	9.9	3	4.8
福祉環境	4	5.6	6	9.7
医療	1	1.4	17	27.4
道路等都市基盤	0	0.0	5	8.1
安全安心	18	25.4	2	3.2
自然環境	57	80.3	4	6.5
景観	27	38.0	0	0.0
公共交通	2	2.8	30	48.4
農畜産物	13	18.3	1	1.6
その他	0	0.0	2	3.2
計	71人	190	62人	132



問 1 4 飯山市についての意見、好きな場所、思い出に残るイベントなど（記述式）

○飯山市についての意見

- ・生まれ育った飯山は、不便であっても好きなところですよ（人や景観）。ただ就業場所が無い、雪の中での生活、買い物をする商店の少なさ等が課題かと思います。（40歳代 会社員）
- ・まだ家が残っているので新幹線で行くのが楽しみです。（70歳代以上）
- ・屋根の雪下ろしは大変だったが、住み慣れた良い町だった。駅へ車を置いてワイパーを壊された件では安全安心という面から問題を感じたが、現在の小諸と比較すると非常に穏やかな住みやすい町だったように思われます。（50歳代 サービス業）

- ・高い人口減少は飯山に限らず国全体の問題なのでしょうね。でも福祉の関係はまだまだ介護職員の不足等いろいろな所で今の若い人たちも大変だと思います。何かいい方法はないものかと思いますが、今のところ・・・(70歳代以上 農林業)
- ・飯山市は除雪がしっかりしていて、素早くて助かりました。(20歳代 会社員)
- ・2年間楽しく過ごせました。ありがとうございました。(50歳代 会社員)
- ・区費は年間10万円くらい。地区の仕事は、人口が減っているのに内容が減らず多くの休み、連休がとられる。消防団に入らないとまわりから白い目で見られる…。これではせっかく来た若者が出て行くのもあたり前。このまま年寄りの言うことを聞いていては、地区・村も消滅する。だれでも(年寄り以外)わかっているはずですが。メリットをアピールすることも大事ですが、デメリットを確実に減らしていかないと、長くはもちません。デメリット対策を！(雪はデメリットではありません！)(不明)
- ・飯山には30代で家族で外様に2年。その後50代で北町に単身で2年暮らし、多くの方と知り合いになりました。雪国の生活が好きなので、通勤も歩いて楽しく過ごせました。二年参りで雪灯籠の寺を何カ所もはしごして回り、雪国の風情を感じたものです。県内で一番思い入れのある地です。私と一緒に勤務した仲間で豪雪地の駐在所に10年いた人が2人いますが、それぞれ地域を愛し、地域の安全のために仕事を全うしたと思います。飯山市で生活できたことを感謝しています。(50歳代 公務員)
- ・飯山は1年中美しい地域でした。お世話になりました。ありがとうございました。(30歳代 公務員)
- ・転出先と比べ人間性は深く温かいと感じる。(30歳代 サービス業)
- ・一年を通じて四季を感じることでできる良い場所だと思います。また近所の方とのコミュニケーションなど、とても心が暖かくなりました。逆に車がないと生活ができなかったり、ガソリンが高いのが気になりました。子どもと室外でゆっくりできるような公園などの設置やお年寄りなどに優しい街づくりをしてほしいと思います。(20歳代 製造業)
- ・自然豊かで空気がおいしくて居心地の良い地域でした。雪の多さも好きでした。飯山の道の駅の野菜や食事が好きでした。新幹線の開業まで居られず残念でした。都心に住んでいますが、時折恋しくなります。応援しています。(20歳代 会社員)
- ・雪さえなければ、これほど住みやすい街はないと思っています。子どものころや若いうちはそれほど苦にならなかったのに、と思います。住みなれた地を去るのはやはりさびしいものです。ご発展を祈っております。ありがとうございました。(60歳代 団体職員)
- ・Iネットがみれなくなって残念。(40歳代 製造業)
- ・ふるさと納税 魅力的なので検討しています。(40歳代 会社員)
- ・雪が多くてまいりましたが、自然環境や近所づきあいもよくまだまだ続けたい。転出理由は家庭環境の変化でしかたなく。(70歳代以上 会社員)
- ・住んでいるときは早く出たいと思っていましたが、いざ出してみると飯山の良さをすごく感じます。まゆみ人形館とパティスリーヒラノ、心幸食はとてもよかったです。(30歳代 公務員)
- ・商店が少ないので地域にほしかった(70歳代以上)
- ・菜の花まつりに毎年行きたいが、駐車スペースが少なく近くまで行って断念することが続いているので、気軽に行けるようになればいいなと思います。(20歳未満 学生)
- ・飯山大好きです。飯山が恋しくて時々帰ります。都会にはない田舎の良さが沢山あります。そのままがいいです。(20歳代 サービス業)
- ・若い世代のアイデア等を聞き入れてほしい。古いものを守ることに固執しすぎず、先のこと

を考えて飯山市の発展に取り組んでいただきたいと思います。(30歳代 会社員)

- ・新幹線が開通して、もっともっと観光に力を入れてほしいです。(20歳代 公務員・教員)
- ・飯山駅周辺をもっとにぎやかにしてください。(30歳代 会社員)
- ・飯山好きです。南高校でした。南高なくなってさみしいです。(20歳代 学生)
- ・飯山市の魅力を県外に発信する機会が北陸新幹線開通でより増えると考えられるため、ポスターの掲示などで知名度をあげてほしい。四季がはっきりとした気候で、自然も豊かなので海外からのお客さんにも気に入られると思う。海外の人々に目を向けた宣伝をしてもらいたい。(20歳未満 学生)
- ・すごい田舎という感じでもなく、かといってすごく都会という感じでもないのが、住むにはすごくいいと思います。人も親切でいいです。ただ、雪が多く冬場交通などで困るので、雪を活かした何か特産やイベントがもっとたくさんあればいいと思います。(20歳代)
- ・市街地にはほぼ全ての機関が集中していたため、市街地近くに住んでいた私たちは便利でした。遊び以外で雪の特に多い場所へいくことはあまりなかったので、生活しやすかったです。(30歳代 公務員・教員)
- ・転出をくい止めるだけに対策をとっても創造性がないので、どうすれば転入が増えるか、雇用を生めるか、子供が増えるかをずっと考えてほしいです。若い世代が増えるには雇用が必要です。それからまだ、未婚の男女が多いので、結婚しないと人口も増えない。(30歳代 会社員)
- ・北陸新幹線が開業し、飯山駅や周辺が整備されていくことが楽しみである一方で、飯山らしい古き良きものが減っていくのは寂しいと感じたりもします。高齢化が進み、医療、福祉面を充実させるのは大変かと思いますが、安心して暮らせる体制がさらに整っていくことを期待します(医師不足、交通面、老々介護)。(30歳代 会社員)

○飯山市の好きな場所、思い出に残るイベント

- ・雪まつり(40歳代 建設業)
- ・夏の花火がとてもきれいでした。(20歳代 会社員)
- ・道の駅千曲川(50歳代 公務員)
- ・菜の花の咲く頃の季節が大好きです。夏の花火大会、雪まつり、馬曲温泉(50歳代 会社員)
- ・北竜湖花火大会(30歳代 会社員)
- ・菜の花公園は思い出に残る場所。大切にしてください。(30歳代 会社員)
- ・雪まつりや花火大会など思い出に残っているイベントです。飯山に帰るきっかけにも。このまま続けてほしいです。(20歳代 サービス業)
- ・雪まつりやかまくらまつりといった豪雪地域ならではのイベントは、今後も盛り上げてほしい。(20歳代 サービス業)
- ・飯山雪まつりに行きました。スノーライダーを子どもが楽しそうに遊んでいました。アトラクションをもっと増やしてもらえるとありがたいです。(30歳代 会社員)
- ・菜の花まつり、飯山雪まつりにはよく行っていました。市周辺部の不便さを解消してほしい(中心部への公共交通機関によるアクセス等)。(20歳代 学生)
- ・長峰運動公園、飯山市ポンプ操法・ラップ吹奏大会(20歳代 製造業)
- ・斑尾高原が近くて好きでした。(20歳代 会社員)
- ・菜の花公園はきれいで好きな場所です。城山公園の桜の木のボリュームがもっとあるとよりきれいだと思います。(30歳代 団体職員)
- ・菜の花公園(20歳代 学生)

飯山市から転出された皆様へのアンケート

※該当する箇所に○印及び記入をお願いします。

なお、世帯で転出された方につきましては、世帯主の方についてお答え下さい。

問1 飯山市から転出された際の家族構成について

- ① 単身 ② 夫婦 ③ 二世帯(親子) ④ 三世帯(親・子・孫) ⑤ その他()

問2 お子さん、お孫さんの転出時の就学状況について(問1において3または4とお答えいただいた方)

- ① 就学前 ② 小学生 ③ 中学生 ④ 高校生 ⑤ 大学・短大・専門学校 ⑥ その他

問3 転出された方の年齢について

- ① 20才未満 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代以上

問4 飯山市にお住まいになった年数について

- ① 1年未満 ② 1～5年 ③ 5～10年 ④ 11～20年 ⑤ 21～30年 ⑥ 31年以上

問5 転出前の職業について

- ① 農林業 ② 商業 ③ 製造業 ④ 建設業 ⑤ サービス業 ⑥ 会社員(パート含む)
⑦ 団体職員 ⑧ 公務員・教員 ⑨ 学生 ⑩ 無職(家事等) ⑪ その他()

問6 転出後の職業について

- ① 転出前と変わらない ② 転出前と変わった(具体的に:)

問7 転出前の地区・集落について(()内に集落名を記入して下さい)

- ① 飯山() ② 秋津() ③ 木島() ④ 瑞穂() ⑤ 柳原()
⑥ 外様() ⑦ 常盤() ⑧ 富倉() ⑨ 太田() ⑩ 岡山()

問8 転出先について

- ① 北信地域(長野市、須坂市、中野市、山ノ内町、小布施町、信濃町、飯綱町、木島平村、野沢温泉村、栄村)
② その他の長野県内()市町村) ③ 首都圏()都県)
④ 中京圏()県) ⑤ 近畿圏()府県) ⑥ その他()道県)

問9 飯山市から転出された理由について(あてはまるもの全てに○をお願いします。カッコ内も○をお願いします)

- ① 仕事の関係(就職、転職、転勤、退職)
② 学校の関係(進学、転校)
③ 親や子と同居、親の介護など家庭の事情
④ 結婚・離婚のため
⑤ 住宅の関係(住宅の新築・購入、借家の借り換え)
⑥ 生活環境(医療、福祉、子育て環境、公共交通、災害、近所づきあい、その他())
⑦ 雪の関係

転出者アンケート調査(窓口)集計結果

1 調査の目的

本調査は、飯山市から転出した人について、転出した理由、転出先、飯山市の良い点・悪い点などを把握し、今後の人口減少対策の参考とすることを目的として実施した。

2 調査の方法と回収結果

- (1) 調査対象 平成26年12月11日から平成27年4月30日までの間に転出届を提出した316世帯(401人)
- (2) 調査の方法 市民環境課窓口での転出届提出時における回収

3 回答結果

回答数 226世帯(304人)
 回答率 71.5%

4 月別内訳

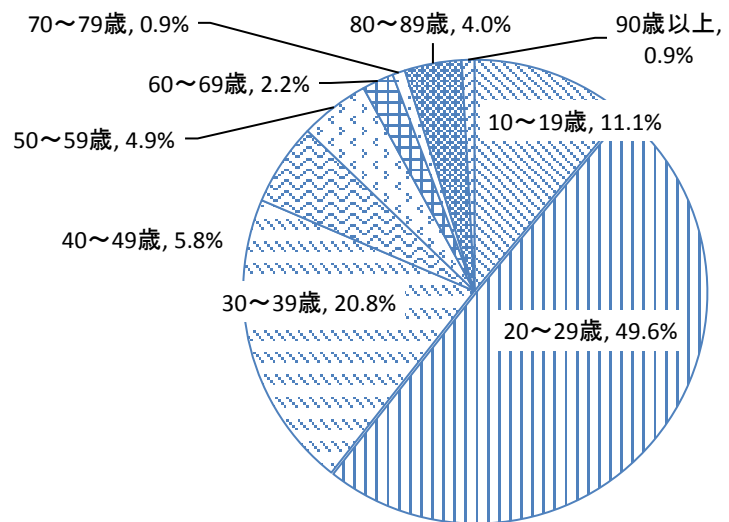
月	転出世帯数	回答世帯数	回答率
H26.12	11	6	54.5%
H27.1	44	26	59.1%
H27.2	38	25	65.8%
H27.3	167	131	78.4%
H27.4	56	38	67.9%
計	316	226	71.5%

5 集計結果

(1) 回答者年代別内訳

回答者を年代別にみると「20～29歳」が5割近く、「30～39歳」が約2割であり、この年代で7割を占めている。

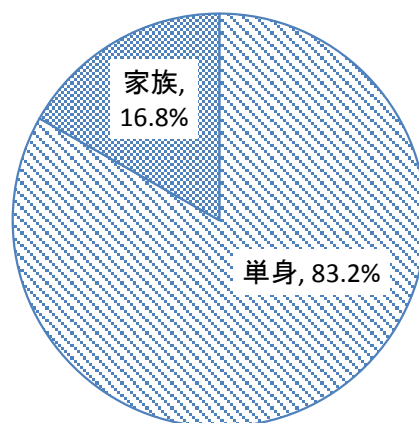
年代別	回答者	
0～9歳	0	0.0%
10～19歳	25	11.1%
20～29歳	112	49.6%
30～39歳	47	20.8%
40～49歳	13	5.8%
50～59歳	11	4.9%
60～69歳	5	2.2%
70～79歳	2	0.9%
80～89歳	9	4.0%
90歳以上	2	0.9%
計	226	100.0%



(2) 転出世帯の構成

転出者の世帯構成をみると、「単身」で転出が83.2%、「家族」で転出が16.8%であり、29歳未満では約95%が単身で転出しているが、30歳～49歳では、単身と家族での転出が半々となっている。

	単身で転出		家族で転出	
	人数	割合	人数	割合
0～9歳	0		0	
10～19歳	25	100.0%	0	0.0%
20～29歳	108	96.4%	4	3.6%
30～39歳	22	46.8%	25	53.2%
40～49歳	6	46.2%	7	53.8%
50～59歳	11	100.0%	0	0.0%
60～69歳	3	60.0%	2	40.0%
70～79歳	2	100.0%	0	0.0%
80～89歳	9	100.0%	0	0.0%
90歳以上	2	100.0%	0	0.0%
計	188	83.2%	38	16.8%



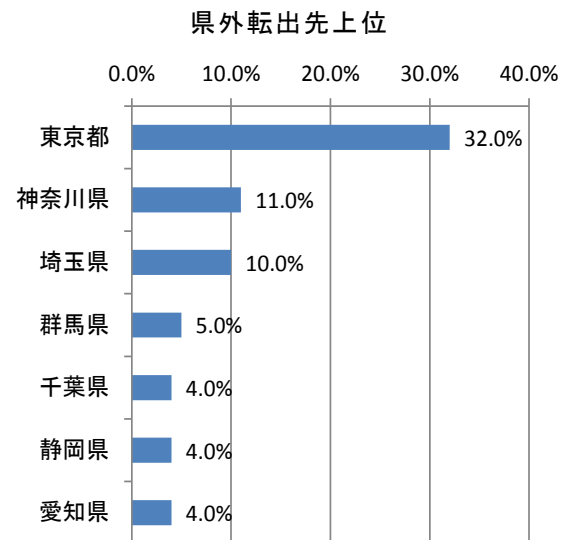
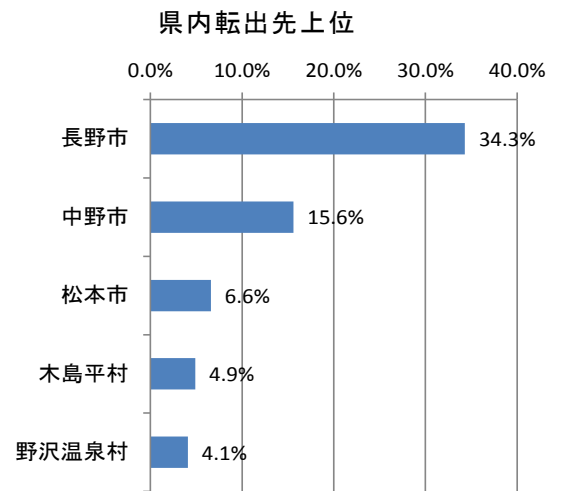
(3) 転出先

- ・転出先で多いのは、「長野市」(18.6%)、「東京都」(4.2%)、「中野市」(8.4%)、「神奈川県」(4.9%)、「埼玉県」(4.4%)の順となっている。県内・県外等別では、県内が54%、県外・海外が46%となっている。
- ・年代別でみると、県外への転出が多いのは「10～19歳」(72.0%)、「20～29歳」(58.0%)、「60～69歳」(60.0%)である。
- ・「10～19歳」及び「20～29歳」では東京都、「30～39歳」及び「40～49歳」では長野市が転出先として最も多い。
- ・転出理由別の転出先をみると、「進学・転校」(10～29歳)による転出先では、東京都(27.3%)、埼玉県(13.6%)、長野市・石川県(9.1%)の順であり、県内が18.2%、県外が81.8%となっている。
- ・「就職・転職」(10～39歳)による転出先では、東京都(23.8%)、神奈川県(12.5%)、長野市(11.3%)の順であり、県内が27.5%、県外が72.5%となっている。
- ・「結婚」による転出先では、中野市(25.8%)、長野市(22.6%)が多い。

転出先の多い市町村等

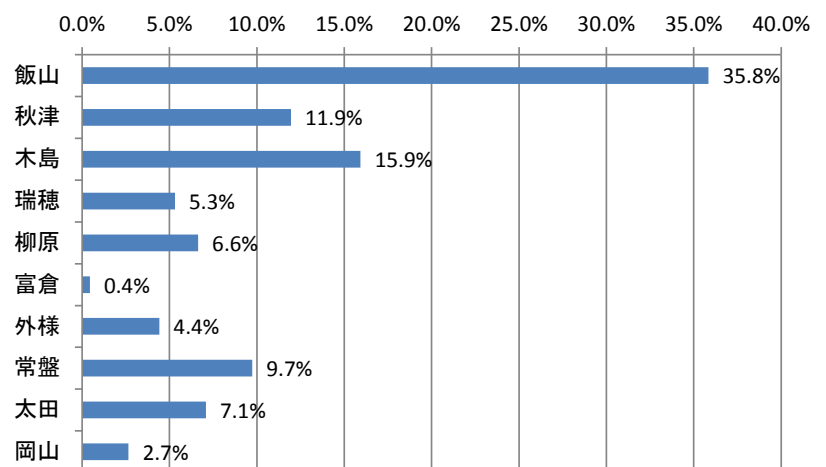
順位	市町村等	全 体		10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳
		人数	割合	人数	人数	人数	人数
1	長野市	42	18.6%	16.0%	13.4%	34.0%	30.8%
2	東京都	32	14.2%	24.0%	19.6%	4.3%	7.7%
3	中野市	19	8.4%	4.0%	7.1%	14.9%	0.0%
4	神奈川県	11	4.9%	4.0%	8.9%	0.0%	0.0%
5	埼玉県	10	4.4%	12.0%	6.3%	0.0%	0.0%
	計	122	100.0%	(25)	(112)	(47)	(13)

県内	世帯	県外	世帯	海外	世帯
長野市	42	東京都	32	オーストラリア	1
松本市	8	千葉県	4	中国	1
上田市	4	茨城県	1	ドイツ	1
岡谷市	4	埼玉県	10	アメリカ	1
飯田市	3	群馬県	5		
諏訪市	1	栃木県	1		
須坂市	2	神奈川県	11		
伊那市	2	山梨県	3		
駒ヶ根市	1	新潟県	3		
中野市	19	石川県	3		
大町市	1	福井県	1		
茅野市	1	宮城県	2		
塩尻市	1	福島県	1		
佐久市	1	静岡県	4		
千曲市	4	愛知県	4		
山ノ内町	2	滋賀県	3		
木島平村	6	大阪府	3		
野沢温泉村	5	京都府	1		
栄村	2	兵庫県	1		
飯綱町	3	広島県	2		
小布施町	1	福岡県	1		
軽井沢町	1	長崎県	1		
佐久穂町	2	富山県	1		
松川町	1	北海道	1		
坂城町	2	鹿児島県	1		
原村	1				
南箕輪村	2				
計	122	計	100	計	4



(4) 転出する前の居住地区

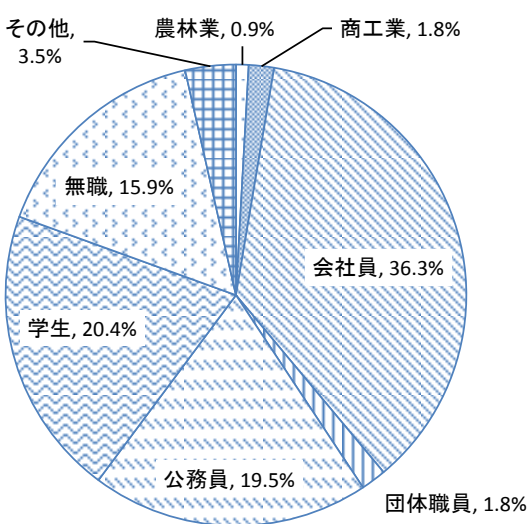
飯山地区	81	35.8%
秋津地区	27	11.9%
木島地区	36	15.9%
瑞穂地区	12	5.3%
柳原地区	15	6.6%
富倉地区	1	0.4%
外様地区	10	4.4%
常盤地区	22	9.7%
太田地区	16	7.1%
岡山地区	6	2.7%
計	226	100.0%



問1 転出される方の職業（世帯で転出の場合は、世帯主の職業）

- ・ 転出される方の職業では、「会社員」（36.3%）、「学生」（20.4%）、「公務員」（19.5%）、「無職」（15.9%）の順となっている。
- ・ 10～19歳では「学生」が84.0%、20～29歳では「会社員」が46.4%、30～39歳では「公務員」が40.4%、40～49歳では「会社員」と「公務員」が46.2%、50～59歳では「会社員」が45.5%と最も多い。

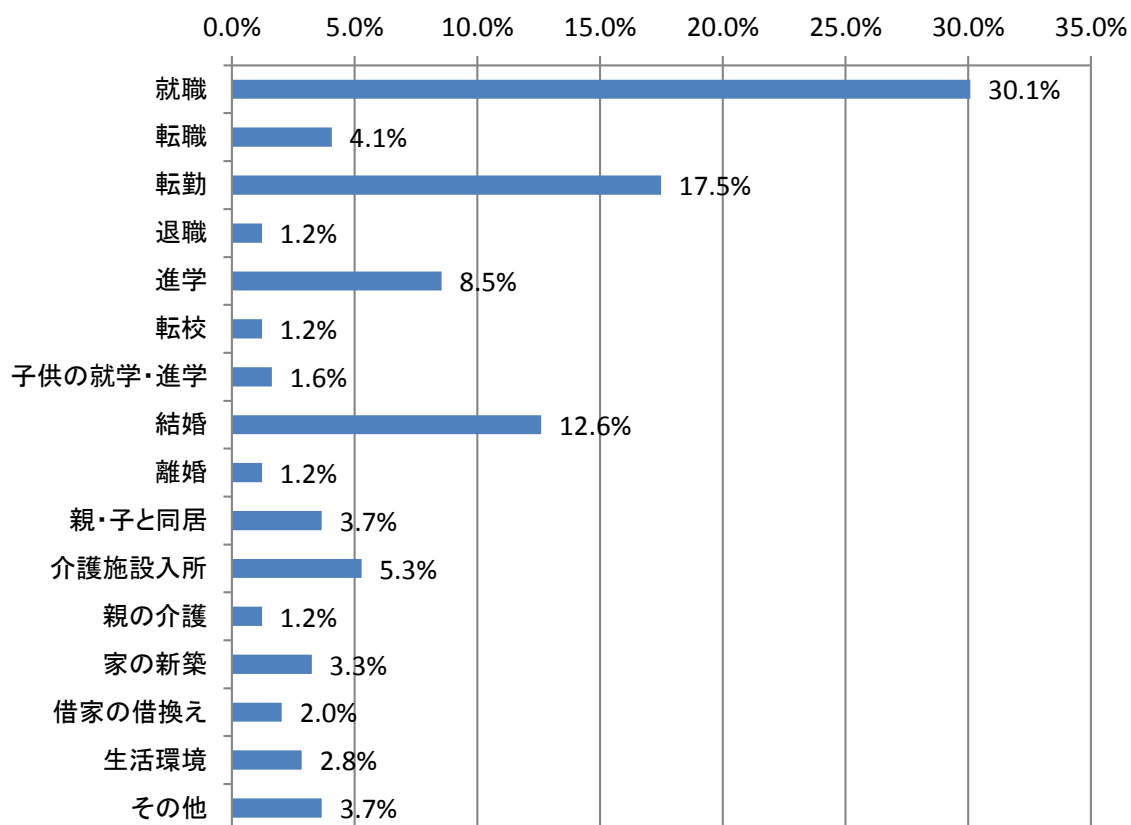
	回答数	割合(%)
農林業	2	0.9
商工業	4	1.8
会社員	82	36.3
団体職員	4	1.8
公務員	44	19.5
学生	46	20.4
無職	36	15.9
その他	8	3.5
計	226	100.0



問2 転出する理由（あてはまるもの全て）

- ・ 転出する理由では、「就職」（30.1%）、「転勤」（17.5%）、「結婚」（12.6%）、「進学」（8.5%）の順であり、仕事関係（就職、転職、転勤、退職）が全体で52.8%を占めている。
- ・ 10～19歳では「進学」が51.9%、20～29歳では「就職」が56.6%と最も多く、30歳～59歳では「転勤」が最も多い（30～39歳：33.9%、40～49歳：53.3%、50～59歳：41.7%）。
- ・ また、70歳以上では、「介護施設入所」が84.6%となっている。

	回答数	割合(%)		回答数	割合(%)
就職のため	74	30.1	親・子と同居するため	9	3.7
転職のため	10	4.1	介護施設入所のため	13	5.3
転勤のため	43	17.5	親の介護のため	3	1.2
退職のため	3	1.2	家の新築のため	8	3.3
進学のため	21	8.5	アパート等の借換えのため	5	2.0
転校のため	3	1.2	市内の生活環境等の理由	7	2.8
子供の就学・進学のため	4	1.6	その他	9	3.7
結婚のため	31	12.6			
離婚のため	3	1.2	計	246	100.0



	就職	転職	転勤	退職	進学	転校	子供の就学・進学	結婚	離婚	親・子と同居	介護施設入所	親の介護
全体	74 30.1%	10 4.1%	43 17.5%	3 1.2%	21 8.5%	3 1.2%	4 1.6%	31 12.6%	3 1.2%	9 3.7%	13 5.3%	3 1.2%
10～19歳	29.6%				51.9%	3.7%		3.7%				
20～29歳	56.6%	3.5%	9.7%	0.9%	6.2%			15.0%	1.8%	0.9%		
30～39歳	1.8%	5.4%	33.9%			3.6%	3.6%	19.6%	1.8%	7.1%		3.6%
40～49歳		6.7%	53.3%				6.7%	13.3%		6.7%		
50～59歳	8.3%	8.3%	41.7%	8.3%						8.3%		
60～69歳		10.0%		10.0%			10.0%			20.0%	20.0%	
70～79歳											100.0%	
80～89歳										11.1%	77.8%	
90歳以上											100.0%	
70歳以上(再掲)										7.7%	84.6%	

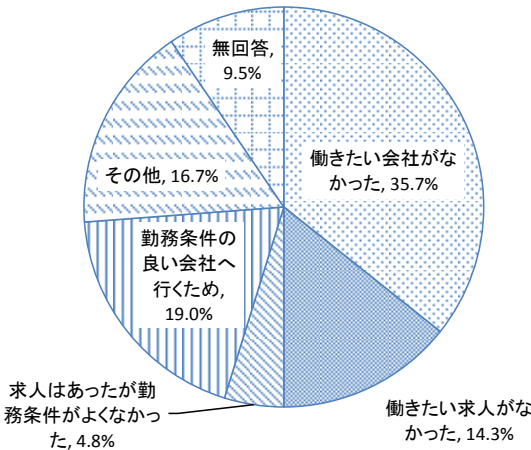
家の新築	借家の借換え	生活環境	その他	計
8	5	7	9	246
3.3%	2.0%	2.8%	3.7%	100.0%
	3.7%		7.4%	100.0%
	2.7%	1.8%	0.9%	100.0%
8.9%		5.4%	5.4%	100.0%
6.7%	6.7%			100.0%
		8.3%	16.7%	100.0%
20.0%		10.0%		100.0%
				100.0%
			11.1%	100.0%
				100.0%
			7.7%	100.0%

問3 就職又は転職の理由（問2で「就職のため」、「転職のため」と答えた方）

問2で「就職」又は「転職」すると回答した84世帯の回答である。

- ・「市内には働きたい会社がない」が35.7%で最も多く、次いで「市内の会社より勤務条件の良い会社へ行くため」が19.0%である。
- ・「その他」では公務員として採用され勤務地が決められているというケースが多かった。

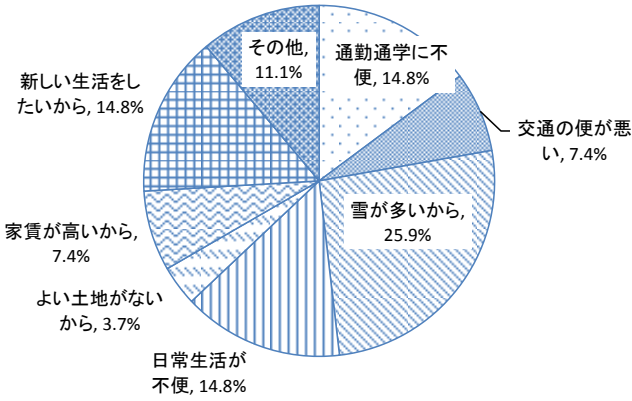
	回答数	割合(%)
市内には働きたい会社 なかった	30	35.7
市内で働きたいが求人 なかった	12	14.3
求人はあったが賃金等の 勤務条件がよくなかった	4	4.8
市内の会社より勤務条件 の良い会社へ行くため	16	19.0
その他	14	16.7
無回答	8	10.5
計	84	100.0



問4 問2で「家の新築のため」、「アパート等の借換えのため」、「市内の生活環境等の理由」と答えた方の転出理由（あてはまるもの全て）

問2で住宅関係、生活環境関係が転出理由であると回答した人では、「雪が多いから」が25.9%と最も多く、「通勤通学に不便だから」、「日常生活に不便だから」及び「違う場所で生活したいから」がそれぞれ14.8%である。

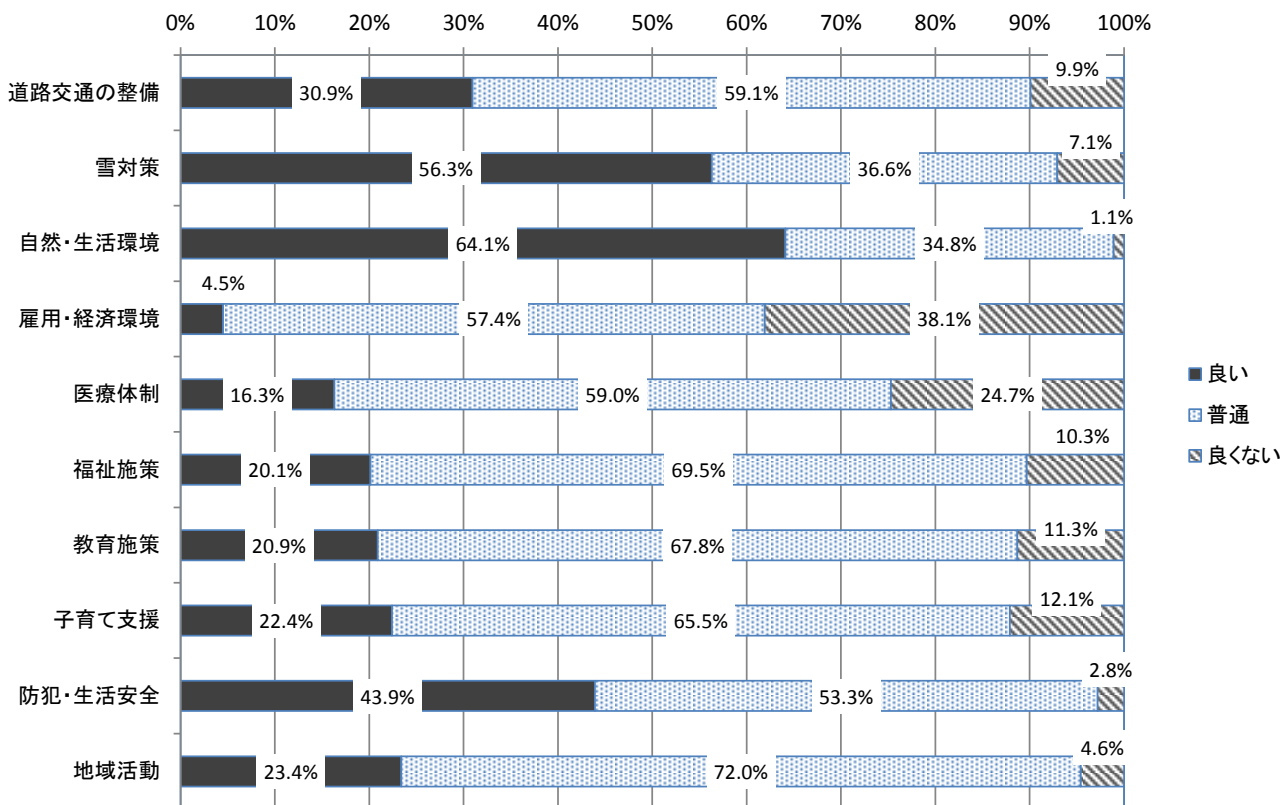
	回答数	割合(%)
通勤通学に不便だから	4	14.8
交通の便が悪いから	2	7.4
雪が多いから	7	25.9
日常生活に不便だから	4	14.8
よい土地がないから	1	3.7
家賃が高いから	2	7.4
違う場所で生活したいから	4	14.8
その他	3	11.1
計	27	100.0



問5 飯山市に住んで住みよいと思った点、住みにくいと思った点について、項目ごとに〔良い・普通・悪い〕を選択

住みよいと思った点については、「雪対策」(56.3%)、「自然・生活環境保全」(64.1%)、「防犯・生活安全」(43.9%)が多く、住みにくいと思った点については、「雇用・経済環境」(38.1%)、「医療体制」(24.7%)が比較的多いが、いずれの項目も普通と思っている人は5割を超えている。

	良い		普通		悪い		計	
	回答	%	回答	%	回答	%	回答	%
道路交通の整備	56	30.9	107	59.1	18	9.9	181	100.0
雪対策	103	56.3	67	36.6	13	7.1	183	100.0
自然・生活環境	118	64.1	64	34.8	2	1.1	184	100.0
雇用・経済環境	8	4.5	101	57.4	67	38.1	176	100.0
医療体制	29	16.3	105	59.0	44	24.7	178	100.0
福祉施策	35	20.1	121	69.5	18	10.3	174	100.0
教育施策	37	20.9	120	67.8	20	11.3	177	100.0
子育て支援	39	22.4	114	65.5	21	12.1	174	100.0
防犯・生活安全	79	43.9	96	53.3	5	2.8	180	100.0
地域活動	41	23.4	126	72.0	8	4.6	175	100.0



転出者アンケート調査のお願い

飯山市は、毎年、転出者が転入者を上回っている状況にあるため、人口減少対策に取り組んでいます。つきましては今後の対策の参考としたいため、飯山市から転出される方に下記アンケート調査をお願いいたします。お手数ですが是非ご協力をお願いします。

問1 転出される方の職業は何ですか（世帯で転出される場合は、世帯主の方の職業）。あてはまる番号一つに○をしてください。

- | | | | | |
|--------|--------|----------------|---------|---------------|
| 1. 農林業 | 2. 商工業 | 3. 会社員（パート含む。） | 4. 団体職員 | 5. 公務員（教員含む。） |
| 6. 学生 | 7. 無職 | 8. その他（ | ） | |

問2 飯山市から転出する理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をしてください。

- | | | | | |
|-----------------|----------------|-------------|-------------------|------------------|
| 1. 就職のため | 2. 転職のため | 3. 転勤のため | 4. 退職のため | 5. 進学のため |
| 6. 転校のため | 7. 子供の就学・進学のため | 8. 結婚のため | 9. 離婚のため | 10. 親又は子供と同居するため |
| 11. 介護施設入所のため | 12. 親の介護のため | 13. 家の新築のため | 14. アパート等の借り換えのため | |
| 15. 市内の生活環境等の理由 | 16. その他（ | | | |
| ） | | | | |

問3 問2で「1 就職のため」又は「2 転職のため」と答えた方に伺います。就職又は転職の理由は何ですか。あてはまる番号一つに○をしてください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 市内には働きたい会社（事業所）がなかった |
| 2. 市内で働きたいが求人がなかった |
| 3. 求人はあったが、賃金等の勤務条件が良くなかった |
| 4. 市内の会社より勤務条件の良い会社へ行くため |
| 5. その他（ |
| ） |

問4 問2で「13 家の新築のため」、「14 アパート等の借り換えのため」、「15 市内の生活環境等の理由」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をしてください。

- | | | | |
|-------------------|--------------|---------------------|---------------|
| 1. 通勤、通学するのに不便だから | 2. 交通の便が悪いため | 3. 雪が多いから | 4. 日常生活に不便だから |
| 5. よい土地がないから | 6. 家賃が高いから | 7. 違う場所で新しい生活をしたいから | 8. その他（ |
| ） | | | |

問5 これまで飯山市にお住まいになって、住みよいと思われた点、住みにくいと思われた点について、次の項目ごとに〔良い・普通・良くない〕から選び該当するものにそれぞれ○をしてください。

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 道路交通の整備〔良い・普通・良くない〕 | 2. 雪対策〔良い・普通・良くない〕 |
| 3. 自然や生活環境保全〔良い・普通・良くない〕 | 4. 雇用・経済環境〔良い・普通・良くない〕 |
| 5. 医療体制〔良い・普通・良くない〕 | 6. 福祉施策〔良い・普通・良くない〕 |
| 7. 教育施策〔良い・普通・良くない〕 | 8. 子育て支援〔良い・普通・良くない〕 |
| 9. 防犯・生活安全〔良い・普通・良くない〕 | 10. 地域活動〔良い・普通・良くない〕 |